

港湾振興便り



2017. 9

第124号

*:

目 次

*:

1 ポートエッセイ

—緊迫度を増す北東アジア情勢

—一方で地方同士の交流も熱気—

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

- 「みなとオアシスリシリとう・くつがた」が新たに登録されました！

(利尻町 まち環境整備課)

- 大船渡港国際水産・物流拠点形成プロジェクト完了記念式典の開催について

(大船渡市 商工港湾部 企業立地港湾課)

- ～石巻港開港50周年記念イベント～『いしのまき港 探検ツアー』を開催

(石巻市 建設部 河川港湾室)

- 「北陸地方整備局見学デー」に港湾空港ブースを出展しました

(北陸地方整備局 港湾空港部)

- 「海洋都市横浜うみ博2017～見て、触れて、感じる 海と日本PROJECT～」を開催しました。

(関東地方整備局 港湾空港部、千葉港湾事務所)

- 大阪港開港150年夢洲コンテナターミナル 岸壁全延長供用式典及び国際物流シンポジウム開催

(近畿地方整備局 港湾空港部)

- 四国各地で「みなと見学会」・「海面清掃兼油回収船の一般公開」を開催しました

(四国地方整備局 港湾空港部)

- 下関港に「にっぽん丸」と「ぱしふいっくびいなす」が同時寄港しました

(九州地方整備局 下関港湾事務所)

- 志布志港国際バルク戦略港湾整備促進大会が開催されました

(九州地方整備局 志布志港湾事務所)

3 お知らせ

◇ 第4回アフロ1／2リレーマラソン

◇ 第16回港湾感謝祭

◇ 第29回塩竈の醍醐味

◇ 第2回庄内おばこ鯖まつり

◇ とれたて!お魚市 カニまつり

◇ 第9回みなと木更津うみ祭り

*:

1 ポートエッセイ

—緊迫度を増す北東アジア情勢

—一方で地方同士の交流も熱気—

～日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長） 篠田 昭～

*:

北東アジア情勢が風雲急を告げている。国際社会を引っかきまわしているのは例によって北朝鮮だ。先月29日に襟裳岬沖にミサイルを発射し、今月3日には水爆ともみられる過去最大の核実験を強行した。この原稿は8日に執筆しているが、それ以降にもミサイル発射などの動きがある。ちょうどこの時期、ロシアのウラジオストクでは東方経済フォーラムが開催され、安倍首相ら各国首脳が集まっているが北朝鮮への新たな制裁など具体対応策が打ち出せるかは予断を許さない。今後も北東アジア情勢を注視したい。

（地方同士の交流も活気）

一方では、北東アジアの地方都市同士の交流や文化交流が盛り上がりを見せている。今回は先月下旬に相次いで開かれた北東アジアの地方交流にふれてみたい。

（ロシア極東は経済交流に意欲）

先月23、24の両日、新潟市で「第26回日ロ沿岸市長会議・日ロ沿岸ビジネスフォーラム」が開催された。ここで目立ったのはロシア側の経済交流への熱意だった。

これまで安倍首相とプーチン大統領は首脳会合を積み重ねてきた。今回の東方経済フォーラムでの会合を加えると19回目となる。この中で日本政府は8項目からなる協力プランなどを具体的に提示。これに対応してロシア側は極東を中心に自由港や新型経済特区など、日本をはじめ世界から投資を引き出す具体制度を実現してきた。

これを受けてロシア側では「経済交流の基盤が整った」との機運が強く、参加した都市や経済界から具体プロジェクトの推進を求める声が相次いだ。中には日本側の消極姿勢に疑問や注文をつける場面も見られた。より大きなプロジェクトを求める姿勢はロシア政府と極東の諸都市の足並みがそろっているが、日本側の姿勢とは依然ギャップが大きい。

（植物工場が成功した背景）



登録証交付式 右：保野利尻町長
左：真田港湾空港部長



登録証交付式 集合写真

●大船渡港国際水産・物流拠点形成プロジェクト完了記念式典の開催について

(大船渡市 商工港湾部 企業立地港湾課)

8月30日(水)、岩手県大船渡市内において、公益財団法人日本財団海野常務理事をはじめ、港湾関係者、水産加工業者など約100名の出席のもと、大船渡港国際水産・物流拠点形成プロジェクト完了記念式典を開催しました。

本プロジェクトは、東日本大震災により被災のあった港湾施設等の復旧を通じて「国際水産・物流拠点としての大船渡」の復活を目的に、日本財団からの多大な支援の下、コンテナ用上屋倉庫、コンテナヤード附帯設備及び冷蔵・冷凍施設の整備を進めてきました。

本プロジェクトによる施設整備によって、荷主企業の利便性が向上し、港湾物流の一層の機能強化が図られることとなります。



大船渡港コンテナ用上屋倉庫



冷蔵・冷凍施設

●～石巻港開港５０周年記念イベント～『いしのまき港 探検ツアー』を開催

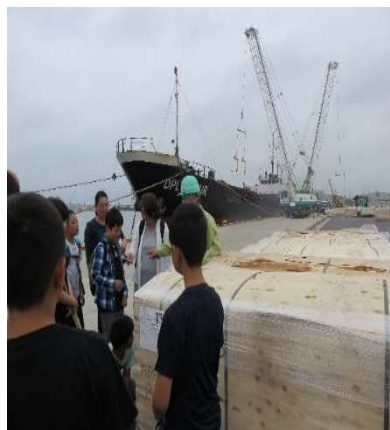
(石巻市 建設部 河川港湾室)

平成２９年８月４日、石巻港開港５０周年記念イベントの一環として『いしのまき港 探検ツアー』を開催しました。

本ツアーは、『石巻港では「どんなお仕事があるのか」「どんなことが行なわれているのか」港を探索しながら学んでみよう！』をコンセプトに、一般参加の親子２０組４０名を対象に行なわれました。

参加者は、石巻港で最大規模を誇る日本製紙(株)石巻工場からスタートして同工場で紙ができるまでの一連の工程を見学し、次に石巻港大手ふ頭で船から運んできた貨物の荷卸しを見学しました。最後は石巻港湾合同庁舎で、港湾管理者や海上保安庁の方々から港の仕事についてクイズなどを交えながら楽しく学びました。子供たちは「作る」「運ぶ」「保つ」「守る」という港での仕事について理解を深めていました。

今回のイベントは石巻港開港５０周年をきっかけとして企画しましたが、子供たちが港について積極的な質問をする姿を見て、是非来年以降も続けて開催したいと思いました。



できあがった紙ってこんな感じ！ ペニヤ板って船で運ばれてるんだ！ みんなで記念撮影

●「北陸地方整備局見学デー」に港湾空港ブースを出展しました

(北陸地方整備局 港湾空港部)

平成２９年８月１８日（金）、北陸地方整備局入居の美咲合同庁舎及び駐車場において、「北陸地方整備局見学デー」が開催されました。

見学デーは、北陸地方整備局の業務内容を広く知ってもらうとともに、市民の防災意識向上及び担い手確保、併せて職員の家族に職場理解を深めてもらうことを目的としたものです。

当日は、災害対策室見学のほか、災害対策用衛星通信システムの使用体験、降雨体験車によるゲリラ豪雨体験、起振車による大地震体験、災害対策車両展示などに、子供連れの家族を中心とした約５００人の来場者がありました。

港湾空港関係ブースでは、大型浚渫兼油回収船「白山」小型模型及び港湾・海岸事業の紹介パネル展示、鳴り砂体験コーナー、液状化体験コーナー、波消ブロック模型で遊ぶコーナーを出展しました。

設営や説明者として先輩職員との組み合わせで若手職員が参加し、子供たちも楽しんでいる様子でした。



北陸地方整備局見学デー



液状化体験コーナー



パネルコーナー

●「海洋都市横浜うみ博2017 ～見て、触れて、感じる 海と日本PROJECT～」を開催しました。

(関東地方整備局 港湾空港部、千葉港湾事務所)

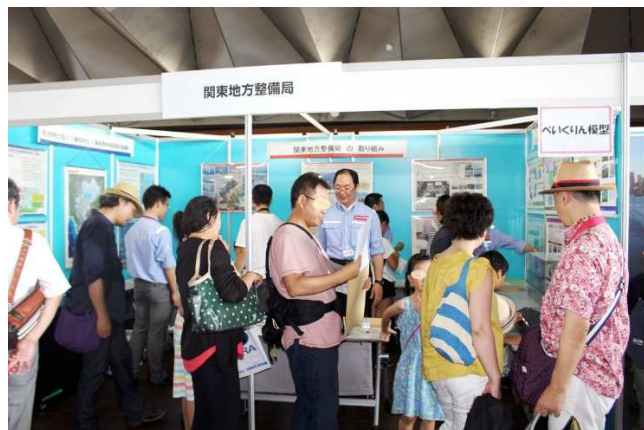
横浜の海洋都市としての新たな魅力づくりに取り組む「海洋都市横浜うみ協議会」では、平成29年8月5日(土)～6日(日)、横浜港大さん橋国際客船ターミナルにて、横浜の魅力である「海」を多くの市民の皆様感じていただくため、昨年に引き続き、「海洋都市横浜うみ博2017」を開催しました。

資源開発、魚や生き物、レジャー、環境保全、船舶など多彩な海の魅力と可能性を知り、触れ、学び、海への関心や理解が深まる、親子で楽しめる体験型イベントで、2日間で約21,000人の方々にご来場いただきました。



会場の模様

このイベントで、関東地方整備局では、関東地方整備局の事業の紹介と当局所属の東京湾清掃のエキスパート清掃兼油回収船「べいくりん」の模型の展示のほか、係留中の「べいくりん」の船内見学会を開催しました。



関東地方整備局ブース



停泊中の「べいくりん」

東京湾のゴミや流出した油の清掃活動を広く知ってもらうことで、海を大切にしてもらうべくPRを行い、「べいくりん」の先進機能のご紹介や回収したゴミの展示など、約700名の方が「べいくりん」の船内見学をされ、浮遊ゴミ回収の重要性や東京湾の環境について理解を深めていただきました。



船内見学の模様



スキッパー（ごみをすくう金網） 動作のデモンストレーション



操舵室内での説明



東京湾で回収されたゴミの数々



大さん橋国際客船ターミナルに、7,000台の自動車を積載可能な巨大な自動車専用船の一般公開が行われました。

●大阪港開港150年夢洲コンテナターミナル岸壁全延長供用式典及び国際物流シンポジウム開催

(近畿地方整備局 港湾空港部)

平成29年9月2日(土)、国際コンテナ戦略港湾である大阪港夢洲地区コンテナターミナルにおいて、連続1,350mの西日本最長の大水深岸壁の供用を記念して、地元選出国會議員14名(うち代理6名)をはじめ、大阪府副知事、大阪市副市長、大阪府會議議員3名、大阪市會議議員14名及び港湾関係者など約240名がご臨席のもと「大阪港開港150年夢洲コンテナターミナル 岸壁全延長供用式典及び国際物流シンポジウム」をホテルシーガルてんぽーざん大阪で開催しました。

供用式典では、大阪市 田中清剛 副市長からの式辞で始まり、国土交通省 菊地身智雄 港湾局長からの挨拶、佐藤茂樹 衆議院議員、左藤章 衆議院議員、國重徹 衆議院議員、井上英孝 衆議院議員、樋口尚也 衆議院議員、椎木保 衆議院議員、石川博崇 参議院議員、杉久武 参議院議員、大阪市会 山下昌彦 議長、大阪府 竹内廣行 副知事及び大阪府議會 大橋一功 議長の皆様から祝辞を頂きました。

その後、大阪港湾・空港整備事務所 三島理 所長から工事経過報告を行い、くす玉開披が行われました。最後に地元みなと幼稚園園児による合唱が行われ式典の最後を飾りました。

国際物流シンポジウムでは、政策研究大学院 井上聡史 客員教授による基調講演の後、神戸大学大学院 竹林幹雄 教授をコーディネーターとし、株式会社辰巳商會 西豊樹 専務取締役、株式会社商船三井 八嶋浩一 常務執行役員、日本通運株式会社大阪国際輸送支店 西本弘 部長をパネリストに招いたパネルディスカッション「大阪港の背後圏産業とアジアの成長を踏まえた今後の物流戦略について」を行いました。



式辞：大阪市 田中清剛 副市長



挨拶：国土交通省 菊地身智雄 港湾局長



祝辞：佐藤茂樹 衆議院議員



祝辞：左藤章 衆議院議員



祝辞：國重徹 衆議院議員



祝辞：井上英孝 衆議院議員



祝辞：樋口尚也 衆議院議員



祝辞：椎木保 衆議院議員



祝辞：石川博崇 参議院議員



祝辞：杉久武 参議院議員



祝辞：大阪市会 山下昌彦 議長



祝辞：大阪府 竹内廣行 副知事



祝辞：大阪府議会 大橋一功 議長



工事経過報告：
大阪港湾・空港整備事務所
三島理 所長



くす玉開披



みなと幼稚園園児による合唱



基調講演
政策研究大学院 井上聡史 客員教授



パネルディスカッション
左から
神戸大学大学院 竹林幹雄 教授
株式会社辰巳商會 西豊樹 専務取締役
株式会社商船三井 八嶋浩一 常務執行役員
日本通運株式会社大阪国際輸送支店 西本弘 部長

●四国各地で「みなと見学会」・「海面清掃兼油回収船の一般公開」を開催しました

(四国地方整備局 港湾空港部)

小松島・高松・松山・高知の各港湾・空港整備事務所において、毎年恒例の「みなと見学会」及び「海面清掃兼油回収船の一般公開」を開催しました。

小松島港湾・空港整備事務所においては、7月15日に「小松島 港まつり 2017」の協賛行事として港湾業務艇「ひのみね」によるみなと見学会、海面清掃兼油回収船「みずき」の一般公開を実施しました。みなと見学会は毎年満員御礼で、受付開始から約1時間で4便全てが満席となる人気イベントです。多くの方に普段見ることができない海からのみなとや街の様子を楽しんでいただきました。

高松港湾・空港整備事務所においては、同じく7月15日に海面清掃兼油回収船「美讃」の一般公開を高松港内にて開催し、当日は約300名の方が見学に訪れました。船員の制服を着用できる撮影会は毎年好評で、「美讃」を背景に家族そろって記念撮影を行ったり、みなとクイズに参加いただきました。

松山港湾・空港整備事務所においては、8月9日に海面清掃兼油回収船「いしづち」の船内見学や、港湾業務艇「くるしま」に乗船し松山港外港地区国際物流ターミナルと松山空港を見学するイベントを行い、抽選で選ばれた小学生とその保護者の27名の方に参加いただきました。

高知港湾・空港整備事務所においては、7月21日に海からの景色を港湾業務艇「とさかぜ」から見学していただく、みなとウォッチングを須崎港にて行い、計17名の方に参加していただきました。7月26日には高知港においても実施し、計78名の方に参加していただきました。

各地のイベントを通して、みなとや働く船に興味をもっていただくとともに、それらの重要性についても理解を深めていただくよい機会となりました。



「ひのみね」によるみなと見学会（小松島港湾）



「美讃」の一般公開（高松港湾）



「いしづち」の一般公開（松山港湾）



高知港でのみなとウォッチング（高知港湾）

●下関港に「にっぽん丸」と「ぱしふいっくびいなす」が同時寄港しました

(九州地方整備局 下関港湾事務所)

平成29年8月13日(日)、関門海峡花火大会に合わせて「にっぽん丸」(総トン数22,472トン)と「ぱしふいっくびいなす」(総トン数26,594トン)が、下関港の本港地区に今年も同時寄港しました。

両船は、平家踊りと平家太鼓の演舞の他、観光パフォーマンスユニット「やまぐち奇兵隊」による歓迎パフォーマンス、山口県PR本部長の「ちょるる」、下関市立しものせき水族館「海響館」ペンギン村のキャラクター「ペン太」により出迎えられました。

その後、船内では前田下関市長と船長による花束や記念品贈呈の歓迎式典が行われたほか、岸壁では山口県内の地酒や土産品などの特産品販売も行われ、花火大会までの時間に買い求める人で賑わっていました。

乗船客は関門海峡花火大会を観覧した後、「ぱしふいっくびいなす」は同日夜に、「にっぽん丸」は翌朝に、両船とも徳島県の小松島港へ向けて出港しました。



船内での歓迎式典の様子



賑わう特産品販売の様子



関門海峡花火大会の様子 船:「ぱしふいっくびいなす」

●志布志港国際バルク戦略港湾整備促進大会が開催されました

(九州地方整備局 志布志港湾事務所)

志布志港では、畜産業に必要な不可欠な配合飼料の原料等となる穀物の企業間連携による共同輸送の進展のため、大型穀物船に対応した岸壁や水域施設等の整備を行う事業を平成29年度より新たに開始します。

そこで、一般市民の方々に向けて、事業目的や効果の説明、地元の熱意の表明等を目的とした大会を8月26日(土)に志布志市内で開催しました。国会議員の先生方や鹿児島県知事、主催者である志布志市長をはじめ地元市長、町長、及び港湾関係者など約850名のご臨席のもと、来賓の方々の挨拶や志布志港を利用する企業・畜産関係者より意見発表が行われました。

畜産大手の株式会社ナンチクファームからは「米国の畜産生産コストは日本の半分以上で、国際競争力強化のためには飼料コストの圧縮が必要。穀物輸入船の大型化実現は、日本の畜産業の浮沈に関わる重要な事項であり、志布志港国際バルク戦略港湾整備は、生産費の6割を占める飼料代の削減に大いに功を奏すると期待している」との意見が表明され、また「志布志港の整備は南九州地域のみならず日本全体の畜産業の産業競争力の強化に大きく貢献することが期待され、整備の推進を強く要望する」との大会決議が採択されました。

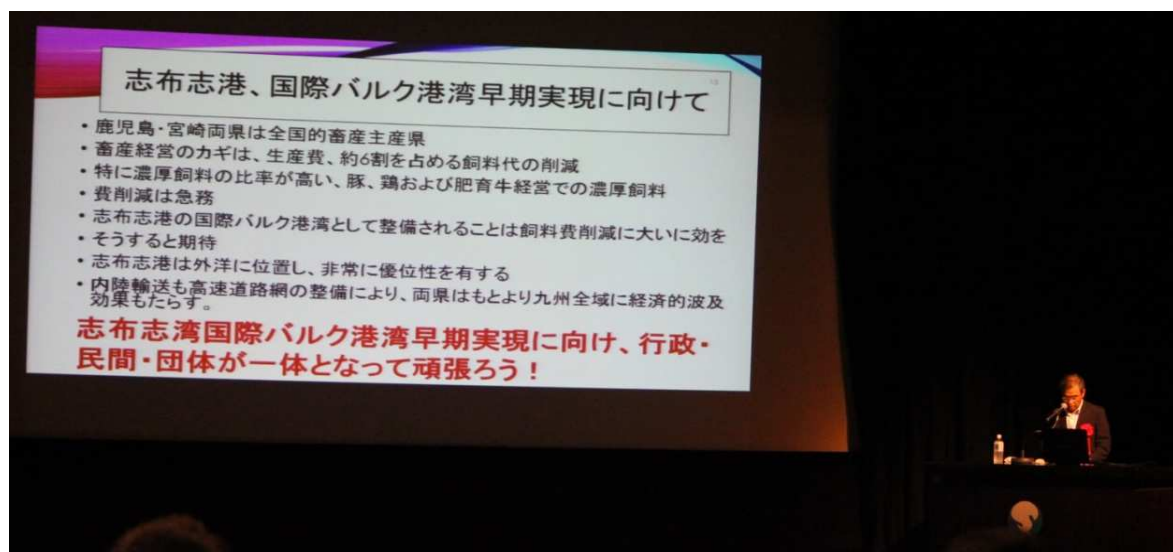
九州地方整備局では、「志布志港国際バルク戦略港湾」をはじめとした港湾整備について、鹿児島県や志布志市、また地域の皆様と連携しながら着実に進め、地域全体の更なる発展に貢献できるよう、全力で取り組んで参ります。



大会の様様



会場の様様



港湾利用者の意見発表



事業概要

*:**

3 お知らせ

*::~

◇第4回アフロ1／2リレーマラソン

【開催日時】平成29年9月23日（土）

【場 所】ワ・ラッセ西の広場・青森ウォーターフロントエリア特設コース

【概 要】

1チーム5人～20人までで1周750mのコースをアフロカツラを櫂（たすき）にリレー方式で28周（ハーフマラソン）完走を目指します。

（※平成29年9月19日（火）までに事前申し込みが必要）

【問合せ先】青森ウォーターフロント活性化協議会 事務局 TEL 090-8928-6899

【URL】<http://www.awfro.jp/>

◇第16回港湾感謝祭

【開催日時】平成29年9月30日（土）10:00～15:00

【場 所】石巻港大手ふ頭

【概 要】

石巻港開港50周年イベントの一環として、第16回港湾感謝祭を開催します。今回の目玉は普段お目にかかれない「はたらく船」3隻の一般公開。官公庁・港湾関係企業PRコーナー、飲食等販売も行ないます。

【問合せ先】石巻市建設部河川港湾室 [TEL 0225-95-1111](tel:0225-95-1111)

◇第29回塩竈の醍醐味

【実施内容】まぐろ解体即売、焼き牡蠣・海鮮炭焼き販売、地酒試飲販売、子ども縁日交流市フェア（岡山県倉敷市、山形県村山市）、スタンプラリー抽選会

【開催日時】平成29年10月28日（土）、29日（日）10時～15時まで

[illegible]